

IMPELLA の使用経験

【はじめに】2017年9月からIMPELLAが保険償還され、急性心不全の新たな治療戦略として普及しつつある。IMPELLAはVADと同等の機能を持つ流量補助装置であり、心負荷軽減と心筋循環改善による心機能改善が期待されている。当院でこれまで8例を経験したので報告する。【症例】8例の内訳は男性6、女性2 年齢はから71.2歳。平均BSAは1.60m²。原疾患はAMI4例、DCM1例、心筋炎1例、心不全2例。2例は導入前から肺水腫を呈していた。【導入まで】導入前に関連部署のスタッフ全員がe-ラーニングを受講し知識を深めた。その後、シミュレーションを行い医師、看護師と連携して役割を確認した。IMPELLA導入後、MEは従来の補助循環業務と同様に当直体制で管理した。【結果】5例でIMPELLAから離脱できた。4例はPCIに先行してIMPELLAを導入した。平均施行時間は72.6時間。2例はIMPELLAから治療のエスカレーションを必要とした。1例は下肢虚血のため早期に離脱を行った。緊急でポンプ交換を要するような深刻な問題はなかった。アラームはカテーテルの位置異常が最も多かった。1例は使用後のIMPELLAに血栓を認めた。【まとめ】IMPELLAを導入した8例を経験した。IMPELLAの迅速な導入や管理において多職種との連携が欠かせないが、経験不足のためにマニュアルを参照しながら対応することが多く、さらなる研鑽が必要であり、また今後の課題と考える。